

部会だより(電気電子情報工学部会)

電気電子情報工学部会々報

<http://www.kgudenki.jp>No. 32
発行責任者
岡田 光晴

今年度の抱負

会長 岡田 光晴
(電気'69年度卒)

同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のうえご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃より部会活動には深いご理解を賜り感謝申し上げます。

2010年6月19日の部会評議員会におきまして、引き続き部会長を仰せつかり、今後2年間、微力ではございますが同窓会活動の活性化のために努力して参りたいと思います。皆様の絶大なご協力をよろしくお願いいたします。また、同評議員会におきまして部会名称を現学科名に合わせ、電気電子情報工学部会とすることもご了解いただきましたので、併せてご報告申し

上げます。

さて、昨年の学院創立125周年記念行事におきまして、募金や音楽祭チケットで皆様には大変お世話になりましたこと、心より感謝申し上げます。特に音楽祭では、わが電気先輩、寺内たけし氏の迫力ある演奏とヒューマンにあふれたトークは我ら同窓生や聴衆に感動を与えていただきました。神奈川県民ホールは満席となり大成功だったと思います。募金につきましては来年3月まで継続活動となりますので、引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

部会活動につきましては、日頃皆様にご支援ご協力をいただいているにもかかわらず年々、年会費の納入者や、在学生に対する学問・研究・スキルアップ奨励を目的としたE&C育英基金へのサポートなどが減少しております。このことは、昨今の経済危機もさることながら、私たち部会からのメッセージも不足していることも一因として反省しなければなりません。今年度は、評議員会においてご承認いただいた活動方針に沿って部会として着実に実行

して参りますとともに、特に部会活動を支える幹事には若い方々の参加を呼び掛け、新たな発想で部会活動を推進する基礎固めをしたいと思っています。

もう一つ重要なことは学科との連携強化であります。現役学生が社会に出る準備の手助けを行うことや学問・学術研究のスキルアップの支援を行うことは、部会活動の重要な役割として行動して参りたいと考えております。このことをご理解いただき、引き続き皆様のご支援ご協力をお願いいたします。また、4月より学科長が井原先生から銭先生に交代いたしました。銭先生を中心に学科との連携をさらに深めてまいりたいと思っています。

今年は電気電子情報工学科設立60周年にあたります。現在、平松工学部長が実行委員長として、先生とOBが実行委員となつて記念行事を計画しているところです。2010年11月13日(土)金沢八景キャンパスにおいて午後一時半スタートと決まりました。詳細については実行委員会検討の最中です。決まり次第、部会ホームページや部会報でお知らせいたします。今から日程を空けておいていただき、多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。最後になりますが、母校の発展と同窓会の皆様のご健勝、ご発展を祈念いたしましてご挨拶いたします。

電気電子情報工学科の近況について

電気電子情報工学科長
銭 飛

皆さん、始めまして、2010年4月から前任学科長 井原俊夫先生の後任として、電気電子情報工学科学科長を拝命いたしました銭飛と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

甚だ微力ではございますが、諸先輩諸先生の功績を受け継ぎ、本学科の発展のために努力する所存です。

さて、恒例ですが、学科の近況をお知らせいたします。2010年度4月時点での学部入学者数は94名、学部生の在籍者の総数は333名となっております。一方、大学院電気工学専攻の入学者数は、博士前期課程5名、博士後期課程2名となっており、前後期課程の合計在籍者数はそれぞれ17名、7名となっており、電気電子情報関連の各分野において精力的に研究活動を行っております。

部会だより(電気電子情報工学部会)

2010年度は、工学部としてコース制入試を導入してからの2年目にあたり、前年度に比べ、本学科に関連する電気電子コース、ロボットコース制御専攻、数理コース電気専攻のそれぞれの入学者数は微増、入試の倍率などのデータにより学科全体の安定性が少し増してきたように見えますが、依然として油断のできない状況が続いております。志願者の電気電子分野離れが加速しているといわれている現在では、如何に教育の質を高め、本学科の魅力を増やしていけばよいかは、われわれ教員一同にとって、重要な課題となっています。

そのために、学科ではすでに2012年度に向け、社会からの新しい要請に応えるために、新しい科目の設置準備や、現存カリキュラムを整理し、学生にとってより勉強しやすい環境を作るための様々な検討を始めています。この伝統のある学科を末永く存続させていくために、われわれ教員、教務職員、職員一同頑張りますので、皆様から是非応援とアドバイスを頂戴したいと願っております。

さて、今年は本学科設立60周年の節目に当たり、学科では記念式典を計画しており、既に行行委員会とワーキンググループを立ち上げており、燦葉会電気電子情報工学部会と連携を取りながら、様々な企画調整を行っております。皆さんからは何かご要望等がございましたら、ぜひご連絡いただき、我々と一緒に思い出に残せる良いイベントにしたいと考えております。

以上、学科の近況についてご紹介いたしました。今後とも、皆様からのご支援とご協力をお願い申し上げる次第です。

部会名称 変更について

2010年6月19日に開催された2010年度評議員会におきまして、部会名称変更について決議が行われました。これは、部会の名称と大学学科の名称が違つこと、学生は全員『電気電子情報工学科』に所属している(コース制でも、所属は電気電子情報工学科になります)ことから、部会名称を学科に合わせたらどうかという案が出ました。評議員会では多くの意見が出されましたが、このたび

『電気・電子工学部会』

から

『電気電子情報工学部会』に変更することが決まりました。

井原研究室紹介

関 健二(博士後期課程)

井原研究室は学部生6人、院生1人で研究を行っています。みんな学ぶときは集中して行っています。

井原先生は尊敬できる方で、丁寧な教え方をしてくれます。分からない所も何度も説明して頂けるので理解しやすいです。

当研究室では、無線通信システムの基礎技術である電波伝搬についての研究を行っています。



写真1 研究室メンバー

当研究室の主な研究テーマは3つあります。

・ミリ波を用いた車間伝搬通信

近年の携帯電話の爆発的な普及に象徴されるように、無線通信の需要は急速に高まっています。

中でも、ミリ波伝搬(30GHz以上の非常に高い周波数の電波を用いる)は特に注目され、各機関で積極的に研究開発がなされています。

そこで、ミリ波を用いた(通信環境の影響による)車間伝搬通信での基礎研究を行っています。車間伝搬通信では、車間の間の路面や壁面、またはトンネルといった環境により伝搬状態が異なるため、その都度考慮する必要性があります。

・アダプティブ・アレイを用いた適応信号処理

移動通信や室内無線通信などで電波伝搬の構造を詳細に把握するためには多重到来波(マルチパス波)の分離推定が重要となります。また環境により

部会だより(電気電子情報工学部会)

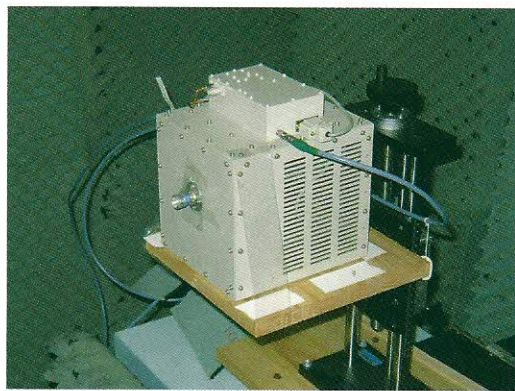


写真2 実験装置

通信遅延(送信側から送られた電波の到達時間の差)が生じ電波状態が変化するため、様々な状況を考慮して調べる必要性があります。そこで、高分解能信号処理手法(MUSIC法など)を用いて遅延推定や到来角推定を行います。写真2の実験装置は、高周波無線用の送信機です。この実験装置は室内の伝搬通信に用います。

例えば、電波暗室に設置し、その間に特定の反射面(壁、金属系棚など)が入る様な場合を作り測定を行います。また、位置を細かく動かして測定し、あたかもアレーを構成する様な事をして処理を行います(アダプティブアレーの構成)。

・天候による衛星伝搬通信の減衰等の研究

地球の周りを回る人工衛星との通信は、地表の送受信機との間にある天候(雨、雷、雪など)に左右されます。

例えば、雨なら水分が電波を散乱するため、送受信機に到達する前に減衰してしまいます。

その中で、特に降雨による衛星伝搬通信の影響に関する研究に注目して研究しています。

年会費納入のお礼とお願い

会計幹事

黒川 徳一(電気'65年度卒)
小川 博芳(電気'77年度卒)

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。『人になれ奉仕せよ』の校訓の基、学ばれた皆様方の絆、学院との共存が相互の飛躍と発展の原動力になるものと期待しています。その為の同窓会と認知して頂き、ご協力のほどお願い申し上げます。

同窓会の運用は会員の皆様の年会費と燦葉会本部よりの援助金により運営されております。2009年度の年会費納入者は146名の納入を頂きました。書面をお借り致しお礼申し上げます。

また部会としては年会費と共にE&C育成基金(主旨は母校に在籍する学生への励みになる学問・研究スキルアップ奨励のための表彰)としてご寄付をお願いしています。同窓会員の皆様におかれましては重々のご理解を賜りまして、ご協力下さいますようお願い致します。なお、年会費、基金納入者氏名を別刷りに掲載させて頂きました。

年会費 2,000円

郵便振込口座番号

00250322193

加入者名

関東学院大学燦葉会

電気・電子工学部会

年会費の納入には3通りの方法でお願いしています。

- 1、同封の払込取扱票により郵便局にてお振り込み戴く方法。
 - 2、OB会の各イベント開催時、現地にて現金納入を戴く方法。
 - 3、自動引落にて納入を戴く方法。
- 尚、E&C育成基金については、右記の1か2の方法でお願いします。また自動引落の場合は燦葉会事務局へ連絡頂ければ書類等手続きをいたします。

行事案内

2010年度総会開催のご案内

本年度の燦葉会電気電子情報工学部会総会は、電気電子情報工学科設立60周年と同時開催となりました。

後述の電気電子情報工学科設立60周年の記事を参照して下さい。

また、電気電子情報工学部会のホームページ <http://www.kendenki.jp> や電気電子情報工学科のホームページ <http://eei.kanto-gakuin.ac.jp/> にも詳細を順次掲載していきますのでそちらも参照して下さい。

2011年賀詞交歓会のご案内

会員相互の情報交換並びに学科教職員の方、新任の学生会(代表)と交流・親睦を深める場を兼ね、新春恒例の賀詞交歓会を左記によって開催いたします。

日時: 2011年1月21日(予定)

19時~20時30分

会場: 関東学院大学

金沢八景キャンパス

12号館「アグラ」

会費: 2,000円

2010年度卒業祝賀会

開催のお知らせ

恒例となりました、学科、学生会、部会の共催による卒業祝賀会を左記の通り開催いたします。

日時: 2011年3月24日(木)

16時~19時

会場: 横浜エクセルホテル東急

(横浜駅西口徒歩1分)

ホームページだより

副幹事長 一杉 和良

(電気'96年度卒)

電気・電子工学部会は、このたび『電気電子情報工学部会』に変更になりましたので、当部会のホームページ名も「関東学院大学 燦葉会 電気電子情報工学部会」に変更になりました。ですが、変更してもアドレスは

<http://www.kgudenki.jp/>

のままです。お気に入りの変更などは不要です。

当部会のホームページの主旨としては、部会活動のイベント(評議員会、総会、賀詞交歓会、卒業祝賀会)の案内や報告などを主に掲載しています。今年は電気電子情報工学科の60周年にあたり、当部会も60周年記念事業について学科と協力し、記念行事を計画しています。詳細が決まり次第、随時ホームページへ掲載いたします。

また、ホームページは部会活動だけではなく、会員の皆様からの記事も掲載致します。ホームページに掲載して欲しい情報や報告などがありましたら、次のメールアドレスまでご連絡下さい。当部会に対する問い合わせに関しても、同アドレスに連絡して下さい。

kanri@kgudenki.jp

電気電子情報工学科設立60周年記念祝賀会のご案内

電気電子情報工学科は昭和25年に関東学院大学工学部電気工学科として設立されて以来60年を数えるに至りました。設立以来学部、専攻科、大学院を含めて約6,700名の卒業生、修了生を世に送り出しました。

おかげ様で、本学科も教育・研究内容や施設も充実してまいりました。日頃より関係各位のご支援の賜と感謝いたしております。つきましては、下記の通り記念式典を執り行いたく存じますので万障お繰り合わせの上御臨席賜りますれば幸甚に存じ上げます。

〈記〉

月 日：2010年11月13日(土)

会 場：金沢八景キャンパス チャペル(第一部、第二部)

金沢八景キャンパス 12号館アゴラ2階(第三部)

時 間：午後2時～午後6時30分(午後1時30分 受付 チャペル)

第一部 記念講演会 午後2時～

講演者 未定

第二部 記念式典 午後3時10分～

第三部 祝賀会 午後4時30分～

会 費：6,000円(予定)

記念講演会では、関東学院大学グリークラブOB合唱団コーラ・オリヴァによる校歌や賛美歌の合唱や、退職された懐かしい先生によるスピーチ、チャペルにあるオルガン演奏などを予定しております。詳細につきましては決まり次第

学科ホームページ <http://eei.kanto-gakuin.ac.jp/>

部会ホームページ <http://www.kgudenki.jp/>

に順次掲載していきますので、そちらを参照して下さい。